

第81回 上海博楚簡研究会のご案内

※ 本研究会は、平成28年度JSPS科研費 26284010助成「Multi Disciplinary Approachによる新出土資料の総合的研究」（基盤研究（B））「出土資料と漢字文化研究会」との共催です。

上海楚簡『卜書』を始めとして

発表者 清水浩子氏(大正大学非常勤講師)

第81回目を迎えた今回の研究会は、清水浩子氏（大正大学非常勤講師）が担当し、最新の情報を盛り込んだ発表をいたします。

つきましてはご多忙中恐れ入りますが、下記の要領で開催いたしますので、ご関心をお持ちの方々多数お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

【清水氏発表要旨】

上海楚簡『卜書』は、伝世文献の『史記』に褚少孫が補写した「亀策列伝」に先だつ中国古代に用いられた亀甲占トを知る貴重な資料であることは誰もが認めるところであります。この『卜書』は周知の通り李零氏によって整理・釈文・注釈が施されて、『上海博物館藏戦国楚竹書（九）』に収められています。

出土地や書写年代についてはすでに公表されている河北省出土、戦国晩期と推定されている論に従って考察をすすめます。

なお、『卜書』が亀甲占トの貴重な資料といっても、これだけで伝世文献以前の占トを語ることはできません。従って他の出土文献と比較することによって中国古代の占トについての理解の一助となればと考えています。

日時：2016年11月26日（土）午後2時～午後5時

場所：日本女子大学百年館高層棟8階815会議室

- 使用言語 日本語
- 参加費 無料
- 『上海博物館藏戦国楚竹書』（九）の写真図版や釈文のコピーなどは、各自ご用意下さい。
- 研究会終了後、懇親会あり。

連絡先：東京都練馬区中村南1-12-5

東京大学名誉教授 池田知久 電話：03-3926-8568